

放射性物質の検査ってどうやっているの？

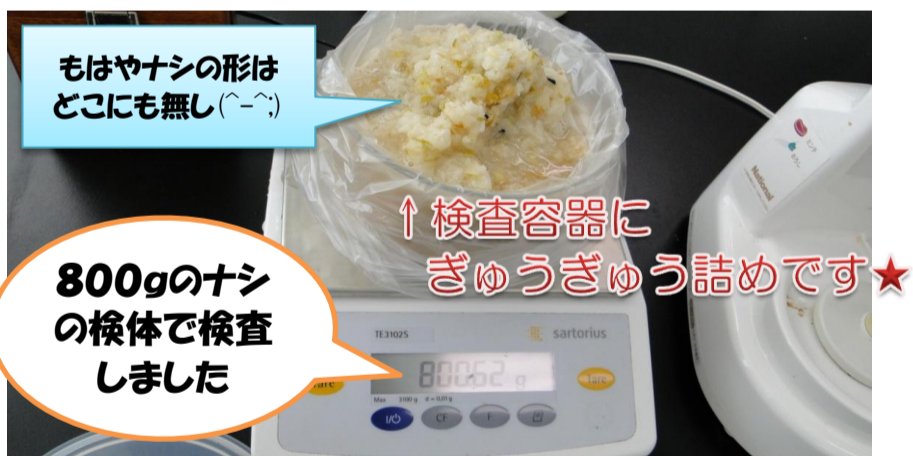
そこで実際に検査をしている
コープラボへ行って
検査のやり方を見てきました！



①検査する商品が届けられました。
いよいよ検査です。
今日は「なし」を検査するようです。



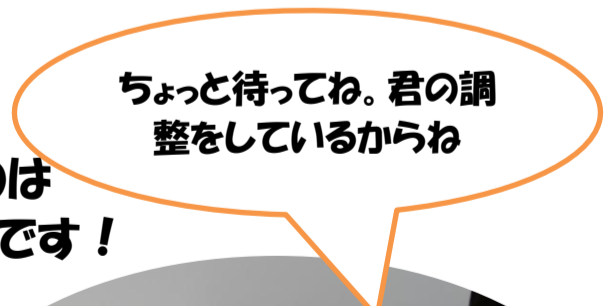
②まずは、商品を細かくします。
もちろん、つまみ食いは許されません…(´-`)ゞ
包丁などを使って小さくカットしたものを
ミキサーにかけてさらに**粉碎**します★

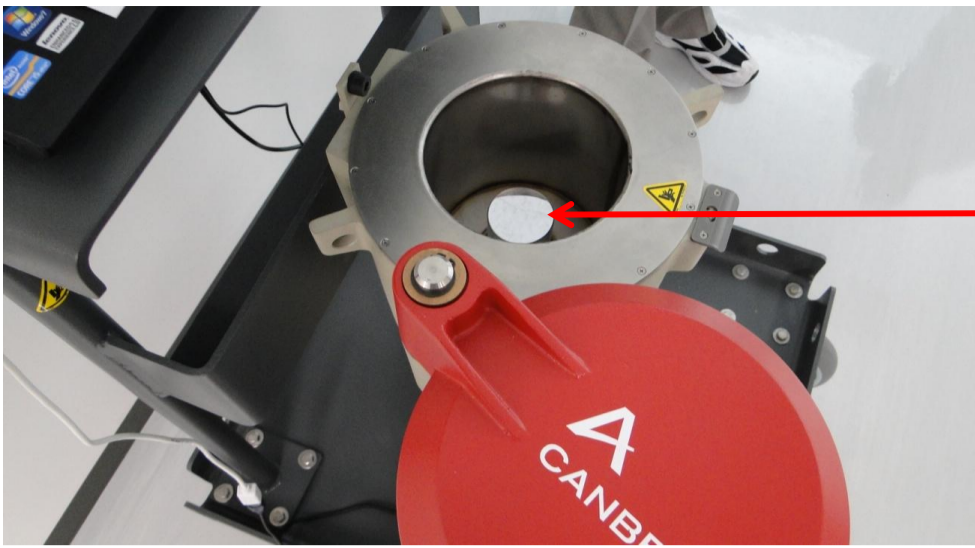


③ミキサーで粉碎した**商品**を検査用の容器に入れ重さをはかります。
なるべく**隙間のない**ように入れることが正確に測定できるポイントです。



④本日の**主役登場!!**
食品中の放射性物質を測定してくれるのは
日立アロカメディカルの検査機器です！





⑤ 測定機器の心臓部です。
ここが放射線を測定するところです。
 (なんか、かき氷機に似てます(-)?)



⑥ 粉碎した**商品**を入れた容器を入れ、
 ふたを閉じます。

うむ。
 隙間なく
 フィットしたぞ。



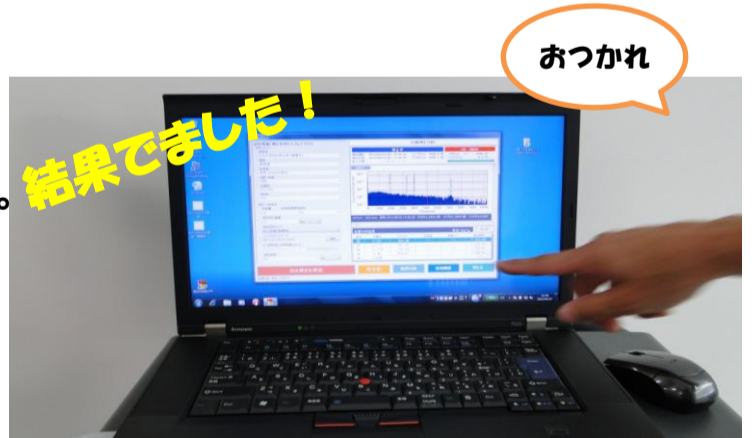
⑦ ボタンを押してスタート。
 検査時間は**商品によって様々**ですが、
 今日は1時間で測定しました。



計 測 中...!

いほし
 待たれよ...

⑧ 検査結果はこのモニターに表示されます。
 結果は検出限界以下(検出限界は25ベクレル以下)でした。



全国に生協の検査センター・検査室は29施設あります。14台の放射性物質の検査機器を持ち、外部の検査機関も活用しながら、2011年3月～2012年3月までに35000件を超える放射性物質の検査をおこないました。日本生協連では、日本生協連コープ商品とその原料の検査を中心にすすめています。さらに、一般家庭の日々の食事に含まれる放射性物質の量についての調査もすすめています。コープきんきでは、コープきんきに所属している生協の産直青果物(京都生協の産直農産物も含めて)を中心に検査をすすめています。京都生協でも、すべての登録米、福島県に隣接する17都県の一般の米、店舗のみで取り扱いされている産直青果物の検査をすすめており、すべて問題のない商品であることを確認しています。